

# KSKP Threshold

一般社団法人 神戸ダルク ヴィレッジ ニュースレター Vol.7

～すれっしょんど～(出発点)

神戸薬物・アルコール依存リハビリテーションセンター

スレッショルドとは、新たな出発点、飛び立つ場所という意味です



Drug Addiction Rehabilitation Center  
**DARC**

## 開設3年目へ向けて

年度替わりからバタバタと迷走していてニュースレターの発行が遅れてしまっており、楽しみにしておられる方々にはご迷惑をおかけしています。

暑い暑い季節がやってまいりました。この暑い季節、2年前の7月に神戸ダルクヴィレッジを開所してあっという間に2年を迎えます。当初は、私のデスクも仲間が過ごすスペースにあり、2～3名でおしゃべりして過ごしていた時期、相談者が毎日来ていた時期が非常に懐かしく思います。今では、手狭になり仲間が過ごす空間を広く快適にと考え、いくつか新しい物件を検討しましたが、用途変更が必要ない100㎡以下の物件というのはなかなか見つからず、コンビニの跡地のような物件を探しています。もし神戸市で、そのような物件にお心当たりがある方がいましたら教えていただきたいと思います。8月からは、最初に開設した3名の寮を閉じて、8名定員の寮を新しく借りることも決まりました。

巣立っていく仲間が新しい生き方の準備をする中、出発点として神戸ダルクを訪れる仲間もあり、開設当時とはずいぶん変わってきた関係機関の理解も含め、開設3年目を迎えられることに感謝するばかりであります。ありがとうございます。

一般社団法人 神戸ダルク ヴィレッジ 代表理事 梅田靖規

一般社団法人 神戸ダルク ヴィレッジ

自立訓練(生活訓練)神戸市障害福祉サービス事業所 デイセンター リカバリー

〒651-0068 兵庫県神戸市中央区旗塚通 1-1-20 長坂ハイツ 2F

TEL 078-224-4244 FAX 078-219-9741 e-mail kobe.darc@gmail.com

[www.kobedarc.org](http://www.kobedarc.org)

神戸ダルク

検索



## DARC、そこには仲間がいる

薬物依存症の回復には仲間が必要

光田豊茂先生(精神保健福祉士)

私はこれまで精神保健福祉現場(精神保健福祉センター、精神科病院等)で40年近く相談業務に携わってきた。その対象者の多くは統合失調症と診断された人達である。この方々は比較的おとなしく、控えめな人達で、なんとか支援をしたいと思わせる人達である。その反対に、薬物依存症者は嘘が多く、油断できないところがあり支援から遠ざけられる存在である。

私はあるきっかけから、地域のカトリック教会で開かれているNA(Narcotics Anonymous)のオープンミーティングに通うようになった。そこで話されるメンバー(薬物依存症者)のスピーチを聞き続けるうちに私の思いに変化が起きた。彼らはなにも好んで嘘を言っているのではない。薬物依存症という病気により嘘を言わざるを得ない状況になっている。彼らは必死に薬物依存症と戦っていることもわかり、彼らに対する私の見方は大きく変った。

薬物依存症からの回復は並大抵のものではない。これまで多くの薬物依存症者がひとりで薬物使用を止めようと、必死でもがき戦ってきた。しかし、その苦勞の割には薬物使用を止めることはできなかった。意志の力で薬物使用を止めることは難しい。それほど薬物使用へのクレイビング(渴望)の力が強い。誰もが薬物の力には負けてしまう。そして、彼らは何度もスリップ(再使用)しては自分の不甲斐なさに嫌気をさし、自己否定を強めてきた。

このような悪戦苦闘の中、DARCに辿りついた人達がいる。DARCには同じ苦い思いを体験した仲間がいる。薬物依存症者にしかわからない苦しみを分かち合っている仲間である。

DARCでは薬物依存症者であることを隠す必要がない。嘘をつかなくても良いほどできる空間がそこにある。そして、互いに薬物依存からの回復を願う仲間たちである。スリップしても回復に向けてあたたかく迎える仲間がそこにいる。この仲間の存在が薬物依存症からの回復には必要である。

DARCやNAでは、同じ依存症者によるミーティングが行われている。言い放し聞き放しのミーティングである。ミーティングでは他人から評価される話をする必要はない。話したことについて誰からも評価も助言も受けない。ただただ自分の思いを話すだけである。ミーティングでは正直に自分の思いを話すことが大切である。参加しているメンバーは我が事のように熱心に耳を傾けてくれる。心を開いて自分の気持ちを正直に話すことにより、自分を受け入れ、自分を見つめ直すことができる。そして、ミーティングに通い続けることが、回復への道のりを歩むことにつながる。

最後に、DARCやNAが薬物依存症者の身近な存在であり、メンバーに寄り添いながら息長く回復への道のりを歩む重要な存在であることを切に願い、私も微力ながら応援したいと思っています。



## 神戸ダルク開設2周年おめでとうございます

兵庫県立ひょうごこころの医療センター 医療福祉相談室 精神保健福祉相談員 小林正英さん

私が梅田さんと初めてお会いしたのは、一昨年の冬でした。

精神保健福祉士の養成校に通っておられた梅田さんに、私が依存症支援の講義をするという、へんてこな出会いでした。私が教えてもらいたかったのですが、梅田さんはすでに神戸にダルクを開設されていました。養成校の同級生と、先々彼らに相談できる人はラッキーだなあと思いました。それは彼らの依存症に対する回復のイメージが、梅田さんとの出会いで持てるようになり、専門職としての関わりの内容がかなり違ってくると思えたからです。

資格を取られてから、私が働いている精神科病院にも神戸ダルクとしてご挨拶に来られ、外来スマーブの重要性・必要性を教えていただきました。残念ながらこれはまだ実現できていませんが。

その後も神戸ダルクは入居支援、通所の生活訓練、家族会、啓蒙活動など活動を強化されてきています。昨年より依存の種類を超えた集いの場として、アディクション・フォーラムの準備会も主導され、私も病院の仲間とともに参加させていただいています。

残念ながら、この兵庫の地は、依存症から回復しようとしている人たちにはパラダイスとは言えない状況があります。人口こそ近畿圏で2番目に多いものの、依存症の方やご家族が利用したり相談できる社会資源が、大阪や京都に比べて少ない。本年2月に行ったアディクション・フォーラムでも、当事者とご家族の参加は多かったのですが、行政や医療関係者の参加がまだまだ少ないように感じました。依存症のことをもっと知っていただく機会をつくる必要と、当事者、関係者、非関係者が立場を超えて協働してことにあたる必要を強く感じました。

梅田さんは、神戸にダルクを開設された理由に、「阪神淡路大震災から復興・回復を経験している場所」ということを言われています。このことの意味が最初はわからなかったのですが、最近、思い当たることがあります。依存症は進んでいくとともに健康、仕事、家族関係、経済的問題、事故・事件などいろんな問題が起こります。ひとつだけでも大変な問題が多発し、そのことがまた当事者を苦しめます。こんな大変な状況に立ち向かわないといけない人々で、私の頭に浮かぶのは、震災の被災者、インドシナ難民、事件・事故の被害者・家族などです。「自己責任」という言葉が聞こえてきそうですが、依存症の人も被災者も大変な状況になろうと思ってないこと、状況的に支援を必要としていることは同じです。しかし両者に対する我々の態度はかなり違うのではないのでしょうか。「復興を経験している兵庫の地は、依存症を理解し受け入れる土壌があるが、耕す必要がある。」というように理解するようになりました。

微力ですが、今後も、ともに歩ませていただければと思っています。

神戸ダルクの友人 小林



## あたらしい生き方

ギン

僕は薬物依存症です。完治しませんが6年半止まっています。確実に回復しています。僕は岡山ダルクで治療をしていました。12月に岡山ダルクを飛び出し神戸ダルクへハイヤーパワーの導きでやってきました。今はとても充実した生活した毎日を送り神戸ダルクの仲間たちはヤクザが来ると警戒していた様ですが鳥取、岡山ダルクでヤクザ色を消す努力をしてハイヤーパワーの意思を求めています。これまで薬物をやり過ぎた後遺症で幻覚幻聴妄想に悩まされていました。しかしなぜか神戸ダルクに来て止まっています。生活に余裕が出来、三ヶ月が過ぎ役割を頂いて仲間と悪戦苦闘しながら食事当番をやっていきます。岡山ダルク鳥取ダルクに未練がないといえは嘘になります。岡山の精神病院に入院しているときハイヤーパワーの意思に任せてみようかと祈りました。新しい土地で頑張ってみようと思いました

プログラムで行なった「欲しいもののリスト」で半年後にボランティアスタッフ、一年後にはスタッフになりたいと目標を立てました。僕はダルクから離れないと決めました。スタッフは大変だと知っていますが何かの役に立てればいい。やくざをしていた時、薬物、女を求めています。睡眠薬や安定剤が減ってくれば頭もクリアになると思います。今パソコンを扱えるようになるように勉強しています。正直言って神戸ダルクに来てもう三ヶ月が経ったのですが、まだまだ仲間たちのサポートを受けています。しかし鳥取岡山ダルクで徹底的にステップをやってきたので神戸ダルクで活かしていきたいです。今6、7のステップをやっているのですが新しいスポンサーが見つかり次第またステップ1からやって、スポンサーと深い絆を築き上げたいです。今、やりたいことは運動、ステップ、小説を書く事、仲間たちとのフェロシップ、パソコンをもっと上手く扱えるなること、2年後にはダルクのスタッフになっている事、病院から出ている処方薬を減らすこと、その為に安定した生活を送ることです。やりたいことが出来薬物に代わるものが見つかりました。今後色々な所に行けると思うのでたくさんの仲間を作っていきたいと思います。薬物を、幻覚幻聴を、治療してくれているダルクに恩返しをしていきたいと思います。また鳥取岡山ダルクの代表をはじめスタッフや仲間たちにも感謝しています。そして僕を神戸ダルクに引き取ってくれその為に動いてくれた神戸ダルクの代表、京都ダルクの代表、同じ故郷のスタッフに感謝です。





## 全てに感謝

ケン

僕は17歳の時に薬物に溺れて、約10年使用してきました。その中で18歳の終わりころから体調を壊し薬物性のうつ病にかかりました。初めはいろいろなことを恨み、被害妄想の中、生きていました。そしてある日精神病院に入院しようとした時、両親にダルクを紹介してもらいました。24歳の時です。それから僕の戦いが始まりました。初めはすぐにスリップをして、何度も脱走を繰り返し、グダグダしていました。

しかし、めげずに何度もミーティングにつながっていると、心に感動を呼ぶ話に出会い、自分も頑張ってみようと思い、今もつながり続けています。これからも今日一日で頑張ります。



## 名古屋コンベンションに参加して

よっちゃん

アディクトのよっちゃんです。暑い日が続いていますね(^ω^)...

夏バテしないようにお互い助け合いながらこの夏切り抜けていきましょう~!

さて、6月に行われた第14回 NA 日本リージョナルコンベンション in 名古屋に施設スタッフ引率で利用者一同で3泊4日に参加しました。こちらも夏に負けないぐらいの熱気で、僕は2回目の参加でしたが圧倒されっぱなしでした..汗 得られたものは本当に沢山ありました。新しい仲間に出会え握手をしハグを交わせた事、顔見知りの仲間と久しぶりに再会できたこと、会場内でのMTで仲間の話からの共感、NAサービスでの新しい発見..本当に色々と感じる事ができました。

私事ですが、ピギナーの枠で20分間皆さんの前で話しする機会を頂きました。前日から少し緊張してましたがマイクを持つ瞬間に施設の仲間から大声で「よっちゃん!!」と声援を頂き緊張がほぐれいつものMTの話ができたと思います。仲間感謝です。

なんと、会場内に母親が来ていました..。来るかもとスタッフから話は聞いていたのですが..正直に自分の話しができて良かったです。母親はビックリだったかもしれませんが..仲間からの後押しでその場で母とハグを交わせた事、母親が子供の様に泣いていた事、今でも鮮明に覚えています。おかん、おとん、苦勞かけてすまん。これからもよろしくお願いします。コンベンションの最終日には仲間との再会を約束し帰路へ着きました。



施設生活に戻り早くも自分の問題に直面しています。本当にしんどい。ですが回復への道を着実に仲間と共に歩んでいます。これから先自分には新たな挑戦が待っています。

それまでに足元を固めて社会に飛び立てるよう施設での生活を有意義に過ごしていきたいと思います。今回このような機会を頂き本当に有難うございました。



家族会が新しくなりました。  
詳しくは次号でお知らせします。

## 神戸ダルク家族会

Our family is growing.

開催日程

4月22日 10月28日

5月27日 11月25日

6月24日 12月23日

7月22日 1月27日

8月26日 2月24日

9月23日 3月24日

詳しい内容は裏面をご覧ください

2018年度の神戸ダルク家族会の  
会場が変わります。  
また、毎回の内容もリニューアルの  
様々なゲスト講師を招き、今まで  
以上に学びと楽しみのある居場所を  
目指します。  
今まで通りお気軽にご参加くださ  
い。  
詳しくは神戸ダルクのウェブサイトで  
確認してください。  
お待ちしております。



毎月第4日曜日 13:00~16:00

会場 神戸市勤労会館

二宮駅から徒歩5分 神戸市中央区役所となり  
個別カウンセリングは随時予約制

資料代 1000円

住所 神戸市中央区東川町 3-1-3  
2階受付の横手箱で郵便物を配達してください

神戸ダルク家族会は登録制団体です。家族  
加入、退会、登録者のための会です。  
お問い合わせ 神戸ダルク 078-236-4366  
koba.darc@gmail.com

内容につきましては神戸ダルクウェブサイト  
www.kobedarc.org  
で、ご確認ください。





## 活動報告

2018 年 4 月

神戸ダルク当事者研究会  
WAM 助成説明会 & 授与式  
釜山ダルク開設支援訪問  
関西対抗ソフトボール大会

5 月

焼肉フェローシップ  
キュービーマヨネーズ社会見学  
沖縄ダルク訪問(エイサー)  
アサヒ飲料見学  
NA ステップセミナー北九州参加  
キリン福祉財団贈呈式  
神戸まつり参加  
阪神北地区薬物指導員研修講演  
メトロマニラ研究訪問

6 月

播磨地区薬物乱用防止委員会参加  
須磨区保護司会講演  
明石更生ネットワーク会議参加  
NA カレーメッセージ参加  
アドバイザー派遣交流会参加  
治療共同体研究会参加  
NA リージョナルコンベンション参加

7 月

愛知県立西春高校講演  
高松刑務所薬物依存離脱教育  
兵庫県精神保健福祉センター講演  
JICA フィリピン計画えんたく会議参加  
ソウルダルクフォーラム参加  
NA 韓国ワークショップ参加  
福井県高浜町立高浜小学校講演  
福井県高浜町立青郷小学校講演  
福井県高浜町立内浦小中学校講演  
福井県高浜町立和田小学校講演  
福井県高浜町立高浜中学校講演  
赤礁崎キャンプ  
依存症セミナー明石  
徳山鳳鳴高校講演  
神崎高校講演  
京都ダルク合同海水浴 in 福井

アゲインファーム ボランティア 月2回

垂水病院メッセージ 毎月第3火曜日

垂水病院スマーブ 毎週金曜日

神戸保護観察所スマーブ講師 毎月2回

神戸ダルク家族会 毎月第4日曜日

明石保健所家族相談 毎月1回

## 近況報告・活動予定

まずはプログラムとしては、本格的にエンカウンターグループや当事者研究などのプログラムを定期的に行なっていけるようになりました。というのもある程度回復が進んできた仲間が増えてきたからです。また、助成金によって、琉球太鼓を購入することができました。練習して、神戸まつりで叩きたいという夢を描いています。それに加えて、新しく六甲台に寮を開設します。山の上から海が見渡せる場所です。正月はそこで、鍋をつつき過ごしたいと夢見ています。また、次号でお知らせしますが、アディクションフォーラムや、依存症セミナーの開催も計画中です。ご支援のほど、よろしくお願いします。

## 神戸ダルク ヴィレッジ広報誌「Threshold」 年間購読のお願い

この広報誌「スレッシュホールド」の年間購読のお願いです。障害者低料第三種郵便物の取得が遅れており、皆様をお待たせしてしまいましたが、漸く第三種郵便物の取得ができました。年間購読費は年6回発行で2000円になります。お申し込みはFAX、電話、メール、または同封の振込用紙にてお願いいたします。お申し込みの際は「住所・氏名・電話番号」を必ず明記ください。

※ 配布用に、当ニューズレターを置いていただける場合はご連絡ください。たくさんの方に読んでいただけるように希望数を郵送いたします。私自身もこのような広報資料を見つけたことがきっかけで回復の場所を見つけることができました。ぜひ、まだ苦しむ依存症者の助けとなるようにご協力ください。

## 支援会員のお願い

神戸ダルク ヴィレッジでは、支援会員として、活動を支えてくれる方を募集しています。兵庫県の薬物依存症者を助ける活動をご支援ください。

個人会員は1口 1万円からになります。  
ご連絡をお待ちしています。

神戸ダルク ヴィレッジ

TEL 078-224-4244 FAX 078-219-9741

e-mail: kobe.darc@gmail.com

## 電話相談 来所による面談 メール相談 相談の内容に關しての秘密は厳守します

## 逮捕・勾留中の方々への支援

刑務所・拘置所・留置所への面会、手紙などによる逮捕者及び保釈中の方への裁判での情状証人出廷や、刑務所出所者への薬物からの回復を希望する方の引受人としての指導対応や、出所前面談など、他機関と連携しながら対応しています。また、資料請求などもご連絡いただければ対応いたします。

★月曜～金曜 10:00～17:00

メールは24時間OK。 kobe.darc@gmail.com



神戸ダルクへのご献金・献品のご支援本当にありがとうございました。

開設から今日までをたくさんの方々に支えられてきたおかげで、仲間一同、回復のプログラムに取り組むことができています。心より感謝いたします。これからも暖かく見守ってください。

#### ご献金

幸地芳朗様 猪木より子様 松永敦様 新田正彦様 横田尤孝様 光田豊茂様 富田安世様 平野茂様

#### ご献品

アゲイン様 竹川智恵子様 中本美千代様 フードバンク様

(平成30年4月11日～平成30年7月10日到着分・順不同 ※購読料の方を含む)

### 献金・献品をお願いいたします。

いつもご支援いただき誠に有難うございます。毎回のお願いで本当に心苦しく思いますが、運営維持のためのご寄付及び、ご家庭で余っている日用品の献品をお願いいたします。

薬物依存症者への初期の支援は、様々な問題や、面会、面談、訪問、手続き、会議などで追われてしまいます。が、そのような支援、さらに刑務所入所者、逮捕者への支援は、すべてボランティアにて行われています。しかし、そのような支援が本当は一番大切であり、依存症者の回復のチャンスを絶やさないようにしたいと考えていますので、何卒ご支援のほどよろしくお願いします。

また、ご家庭で余っている食料品(米、野菜、乾物、味噌、醤油など)から、洗濯洗剤やシャンプー、石鹸、などの日用品などがございましたら、神戸ダルクまでご献品ください。グローブなどもございましたら是非送譲ってください。

ご寄付振込先口座 ゆうちょ銀行

口座番号 00950-9-275937

口座名 シヤ)コウベダルクヴィレッジ

店番 ○九九 0275937

献品の送り先住所 651-0068 神戸市中央区旗塚通1-1-20 長坂ハイツ2F

一般社団法人 神戸ダルク ヴィレッジ

#### 編集後記

新年度を迎え、神戸ダルクも間もなく3年目のスタートになります。あっという間でした。ずっと走ってきた感じがしています。そろそろ、編集人を交代していきたいと思っています。理想としては、育ってきた仲間が社会復帰のトレーニングとして、パソコンを覚える題材として、ニューズレターを作成するというのが理想的です。パソコンを勉強するというのは、なかなか続かないものです。しかし、クリエイティブな活動は、アディクトは好みます。完成した時の喜びを味わってもらえるようにしていきたいですね。いつもご購読ありがとうございます。

神戸ダルク ニューズレター Threshold(出発点) Vol.7

編集人 一般社団法人 神戸ダルク ヴィレッジ 梅田晴規

印刷 プリントバック

〒651-0068 兵庫県神戸市中央区旗塚通1-1-20 長坂ハイツ 2F

TEL 078-224-4244 FAX 078-219-9741

e-mail kobe.darc@gmail.com

www.kobedarc.org

価格 1部100円 年会費2000円

(購読料は年会費に入ります)

発行人 関西障害者定刊行物協会

〒543-0015 大阪市天王寺区喜田山町2-2 楽興ビル4階